

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2010-194990(P2010-194990A)

【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2009-45372(P2009-45372)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 102 R

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月24日(2012.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

噴射ヘッドに設けられた噴射口から流体を噴射する流体噴射装置であって、前記噴射ヘッドに当接して前記噴射口を取り囲む閉空間を形成するキャップと、前記閉空間に負圧を印加することにより、前記噴射口から前記流体を吸い出す吸引ポンプと、

前記閉空間を外部と連通させることにより、該閉空間の負圧を開放する負圧開放手段と、

前記噴射ヘッドと前記キャップとを当接、離間させる移動機構と、
を備え、

前記キャップは前記噴射ヘッドに当接して前記閉空間を形成する環状の第一部材と、
前記第一部材の内側に前記第一部材より高さの低い環状の第二部材と、を備え、

前記閉空間を外部と連通させた後に前記第一部材と前記第二部材とによって形成される
開口部に負圧を作用させる負圧作用手段を備える流体噴射装置。

【請求項2】

請求項1に記載の流体噴射装置であって、

前記第二部材の高さは、前記噴射ヘッドと前記キャップとが当接した状態において、前
記噴射ヘッドに付着した前記液体と前記第二部材とが接する高さである流体噴射装置。